

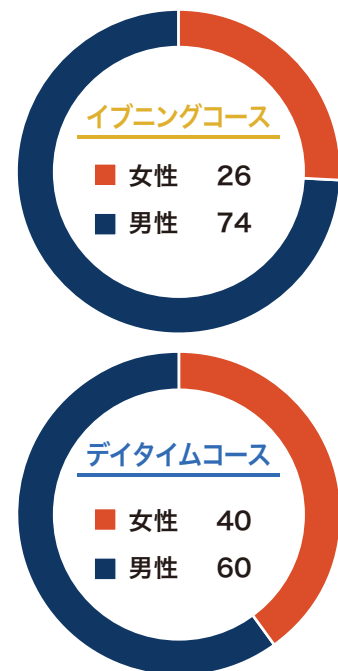
Profile MBA学生プロフィール

ABSに通う将来の創造的リーダーは、次のようなプロフィールの人達です。女性比率が他のビジネススクールよりも高く、情報通信業界やサービス業で働く人がやや多いですが、幅広い業界で働く人達が集まっています。

※2023年度入学者のデータです。

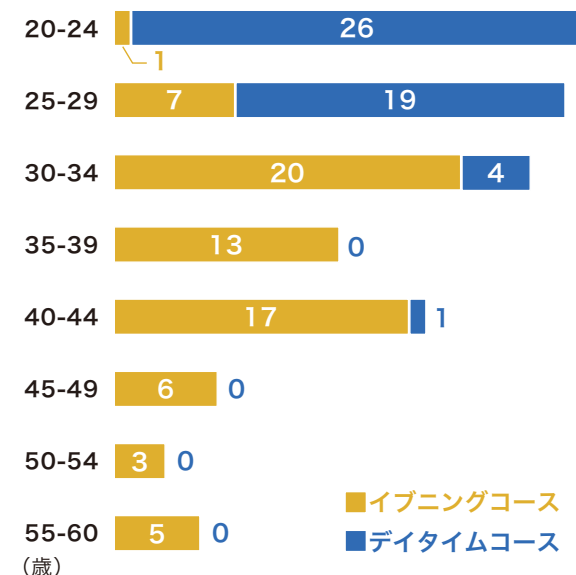
男女比

(%)



年齢構成

(人)



平均年齢

(歳)

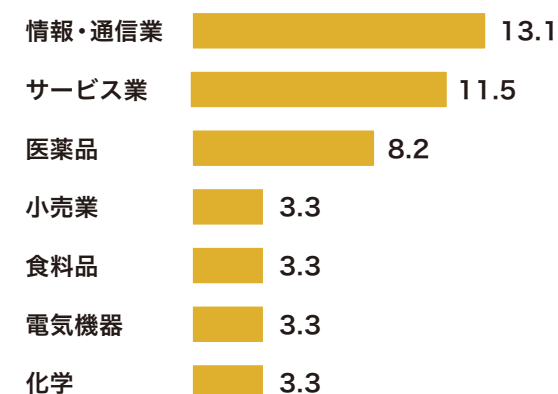
	女性	男性	合計
イブニングコース	36.5	39.0	38.4
デイトタイムコース	26.5	24.9	25.5
合計	31.3	33.9	33.1

海外からの入学者

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ アメリカ
■ イギリス ■ モンゴル ■ オーストラリア

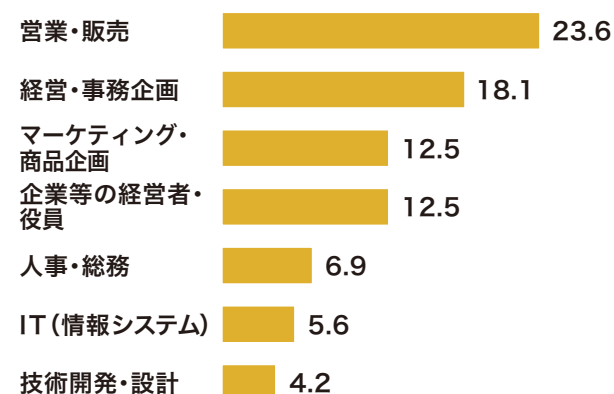
業種 (イブニングコース)

(%)



職種 (イブニングコース)

(%)



DBA Program

博士課程

ABSには、企業などで専門性が要求される研究課題に取り組む研究者を養成する「実践的研究志向」のDBA(Doctor of Business Administration)プログラムがあります。MBAなどの修士号取得者を対象としており、働きながらも学位が取得できるプログラムです。DBA取得の必須条件は、高度な専門性が必要とされる実践的分野において、独自の着眼点と分析ツールを用いた問題解決能力と考察力です。(ABSには、学術研究者の養成を目指すPh.D.プログラムもあります。)

プログラムの特徴

研究指導プロセスは明確化され、3名の研究指導委員による公開研究指導体制を導入しています。これにより学生間の競争的研究環境を整備すると同時に、学位論文のクオリティ・マネジメントを徹底しています。

また、国内外での発表に対する指導面・財政面からの支援を行います。海外連携校とのネットワークを活用した、国際カンファレンスでの研究発表機会の提供がその一例です。

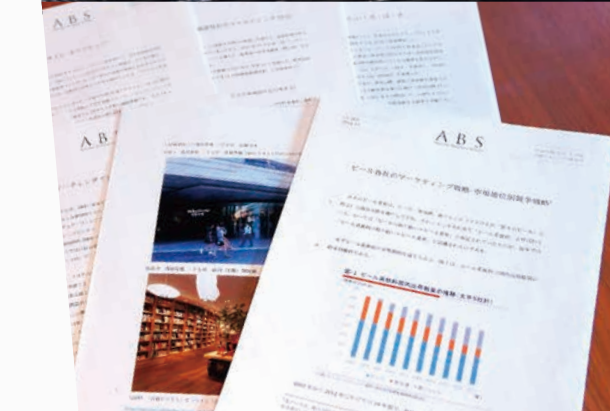
博士号取得者の進路

これまでの博士号取得者の多くは、大学の研究職や教授職、民間企業の研究職として活躍しています。

学位論文のテーマ

- 「マイクロブログにおけるブランドリツイートの実証分析に関する研究」 (2018年度)
- 「コーポレートガバナンス理論に基づく投資家・経営者間のエンゲージメントに関する研究」 (2018年度)
- 「プロフェッショナル・サービスにおける組織アイデンティフィケーション構造 ―リーガル・サービスでのバリュー・プロフィット・チェーンの検証―」 (2018年度)
- 「日本におけるヘッジ会計の実証分析」 (2018年度)

「学生体験談」は、ウェブサイトにてご覧ください。
https://www.aoyamabs.jp/message/voice_phddba.html



専任教員紹介

2023年度



教授
市野 初芳

明治大学大学院経営学研究科博士後期課程中退。税理士(1987年税理士登録、東京税理士会会員)。税理士事務所開業後、企業の税務顧問として税務実務に従事。その後、愛知学院大学商学部専任講師、助教授、教授。この間、マレーシア・マラヤ大学客員研究員、総務省自治大学校講師を経て、2011年より現職。2014年名古屋経済大学大学院法学研究科博士課程修了、博士(法学)。現在、税理士法人所属税理士。ASEAN諸国における税制の動向を研究対象としている。



教授
岩井 千明

慶應義塾大学法学部政治学科、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修士課程(MBA)修了。横浜国立大学大学院博士課程修了(博士:経営学)。青山学院大学国際政治経済学部専任講師、助教授を経て、2004年より現職。
日本電気株式会社で官公庁大型プロジェクト営業、マイクロソフト株式会社でインターネットマーケティングマネージャーを歴任。研究分野はビジネスゲームの開発、アートとビジネス。主要担当科目は「ビジネスデータ分析」「マネジメント・ゲーム」など。



教授
澤田 直宏

慶應義塾大学商学部卒、同大学院経営管理研究科修士課程修了、一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(商学)。全国信用金庫連合会(現 信金中央金庫)、A.T. カーニー株式会社、横浜市立大学を経て2015年より現職。
専門は経営戦略論。R&D Management等に論文を掲載。主著に『ビジネスに役立つ経営戦略論―企業の戦略分析入門』がある。担当科目は「経営戦略」「競争戦略」など。



教授
武田 澄広

カーネギーメロン大学経営大学院(Tepper School)にて博士(Ph.D in Finance)及び、コンピューショナル・ファイナンス修士取得。大阪大学基礎工学部卒業(生物工学)。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)経営大学院客員研究員等を経て現職。
専門分野は、ファイナンス経済学、計量経済学、国際ファイナンス等。最近は、人工知能、量子コンピュータ、ブロックチェーン等の研究をしている。担当科目は、「ファイナンス&テクノロジー」「インベストメント」「国際ファイナンス」「デリバティブ」など。



教授
中野 勉

慶應義塾大学経済学部卒、シカゴ大学修士。米系金融機関勤務の後、米国コロンビア大学博士課程修了(Ph.D in sociology)。コロンビア大学COI外部ファカルティ、ミシガン大学、関西学院大学を経て現職。「企業戦略」、「組織とネットワーク」、「Global Management」、「ビジネスプランニング」、「Circular Economies」を担当。リサーチ分野はイノベーション、クリエイティブ産業、市場とプラグマティックな価値評価。Copenhagen Business School, ENS Paris/Saclay, Frankfurt am Main, Max Planck-Cologne において客員教授または研究員。『ソーシャル・ネットワークと組織のダイナミクス』、『ソーシャル・ネットワークとイノベーション戦略』(単著)、『グラフィック経営組織論』(編著)、『Japanese Management in Evolution』(編著)など



教授
伊藤 晴祥

青山学院大学国際政治経済学部卒業。ハワイ大学シャイダー経営大学院から博士号(Ph.D. in International Management)取得。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科から博士(政策・メディア)取得。国際大学講師、同准教授、同MBA1年制プログラムディレクター、イトックス株式会社代表取締役(現職)、本学准教授を経て現職。専門分野はコーポレートファイナンス、リスクマネジメント、リアルオプション。Journal of Risk and Insurance等に論文を出版。国際標準化機構(ISO)の専門家委員会(環境マネジメント及びサステナブルファイナンス)にエキスパートとして参画。担当科目は「サステナブル・ファイナンス」「コーポレート・ファイナンス」「コーポレート・ガバナンス」など。



教授
黒岩 健一郎

早稲田大学理工学部建築学科卒業。住友商事株式会社勤務。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(MBA)。同後期博士課程単位取得退学、博士(経営学)。武蔵大学経済学部専任講師、准教授、教授を経て2014年から現職。
専門分野はマーケティング論。特に、サービス・マーケティング、市場志向。主著に、『マーケティングをつかむ』『顧客ロイヤルティ戦略:ケースブック』などがある。担当科目は、「マーケティング」「サービス・マーケティング」など。



教授
須田 敏子

青山学院大学経営学部卒業。日本能率協会マネジメントセンターにて月刊誌「人材教育」の編集長等を歴任。イギリスのリース大学で修士号(MA in Human Resource Management)、バース大学で博士号(Ph.D.)を取得。2005年より現職。主な専門分野は、組織論・組織行動論・人材マネジメント・国際経営比較など。「組織行動」「キャリアとリーダーシップ」などの科目を担当。主要著書に『持続的成長をもたらす戦略人事:人的資本の構築とサステナビリティ経営の実現』『マネジメント研究への招待:研究方法の種類と選択』『組織行動:理論と実践』『戦略人事論:競争優位の人材マネジメント』などがある。



教授(研究科長)
中里 宗敬

東京工業大学工学部経営工学科卒業。同大学院理工学研究科経営工学専攻修士課程修了(工学修士)。東京工業大学工学部助手、青山学院大学国際政治経済学部専任講師、同助教授、アメリカ・ミシガン大学ビジネススクール客員研究員、国際マネジメント研究科助教授を経て、2004年から同教授。2019年から同研究科長。専門分野は企業財務と証券市場。特に証券バブル発生のメカニズムの研究を長年行っている。主要著書に「コーポレート・ファイナンスの考え方」など。担当科目は「ファイナンス」「証券データ分析」「FAST」など。



教授
福井 義高

東京大学法学部卒業。日本国有鉄道に入社し、国鉄分割民営化後2000年まで東日本旅客鉄道に勤務。東北大学大学院経済学研究科助教授(2000年～2002年)を経て、2002年より現職。カーネギーメロン大学GSIA(現Tepper School)にてM.S.及びPh.D.取得。
専門分野は会計制度・情報の経済分析。その他関心のある分野は進化論、現代政治史、マクロ経済学など。担当科目は「企業経営の経済学」「財務会計」など。



教授
藤井 賢治

一橋大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科理論・統計専攻修士課程修了(経済学修士)。島根大学教育学部、青山学院大学経済学部を経て現職。
専門は経済学史で、アルフレッド・マーシャルからピグー、ケインズ、そして現代のポスト・ケインジアンへと連なるケンブリッジ学派の通史的把握を研究テーマとする。担当科目は「マクロ経済学」「ビジネスにおける法と経済学」「市場と組織」など。



教授
宮副 謙司

九州大学法学部卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(MBA)。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士:経済学)。西武百貨店、PwCコンサルティング、東京大学大学院特任研究員などを経て2009年4月より現職。専門分野は、マーケティング、流通論、地方創生論。担当科目は、「地域活性化のマーケティング」「SDGsコミュニティマーケティング」「シビックエンゲージメントプロジェクト」など。主な著書として『青山企業に学ぶコミュニティ型マーケティング』『新しい流通論』『企業経営と地域活性化』等がある。



准教授
北野 泰樹

上智大学経済学部経済学科卒業、東京大学大学院経済学研究科現代経済専攻修士課程、博士課程修了。博士(経済学、東京大学)。政策研究大学院大学政策研究科講師、助教授、一橋大学イノベーション研究センター特任准教授を経て2016年より現職。専門は応用ミクロ経済学分野の産業組織論と国際貿易。実証分析を中心に研究を行い、Journal of International Economics誌等に論文を掲載。担当科目は「企業経営の経済学」「ゲーム理論とマネジメント」など。



准教授
中塚 昭宏

慶應義塾大学理工学部管理工学科卒業、同大学院理工学研究科開放環境科学専攻前期博士・後期博士課程修了。博士(工学)。富士ゼロックス株式会社SCM部門に勤務。青山学院大学大学院国際マネジメント研究科助教を経て、2023年より現職。日本経営工学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本フードシステム学会所属。研究分野は、需要予測、在庫管理、SCM。担当科目は、「オペレーションズ・マネジメント」、「オペレーションズ・リサーチ」、「サプライチェーン・モデリング」、「経済性分析」、「コンサルティング・プロジェクト」など。



助手
竹田 琢

青山学院大学国際政治経済学部国際政治学科卒業、同大学院社会情報学研究科博士前期課程ヒューマンイノベーションコース修了。修士(学術)。個人事業主(学校向けのワークショップや探究学習の教材開発に従事)、東京工科大学非常勤講師を経て2023年より現職。湘北短期大学にて非常勤講師として勤務。
専門分野は認知科学・教育工学。特に大学生のリフレクション(省察)支援に関する研究を行っている。ABSではオンライン授業の支援を担当する。



教授
細田 高道

東京理科大学卒業。米国マサチューセッツ工科大学にてMSc取得後、英国国立カーディフ大学カーディフ・ビジネススクールよりPh.D. (Business & Management)の学位を取得。英国高等教育アカデミー・フェロでもあり、現在も英国高等教育機関の外部審査員として活動。研究分野はオペレーション戦略。近年は循環型サプライチェーンに関する諸問題に関心を持っており研究成果はEuropean Journal of Operational Research等から出版。数多くの国際ジャーナル審査員を務める。担当科目は「オペレーションズ・マネジメント」「オペレーション戦略」など。



教授
森田 充

九州大学経済学部を飛び級入学のため退学、同大学院経済学府修士課程修了、および、同経済学府博士後期課程経済工学専攻修了(博士:経済学)、九州大学大学院経済学研究科学術特定研究員、2007年度より青山学院大学大学院国際マネジメント研究科助教、2012年度より准教授を経て2019年度より現職。
専門は計量経済学、最近ファイナンス、ビジネスゲーム、人事関連の実証分析に取り組んでいる。担当科目は「統計分析Ⅰ・Ⅱ」「企業分析とファンド・マネジメント・シミュレーションⅠ・Ⅱ」など。



准教授
島田 由紀

東京大学文学部西洋史学専修課程卒業。同人文社会科学系大学院西洋史学専攻修士課程修了。同人文社会科学系研究科倫理学専攻博士課程単位取得退学。米国プリンストン神学大学院より博士号(Ph.D.)取得。聖学院大学人文学部欧米文化学科准教授を経て、2020年度より国際マネジメント研究科において宗教主任および准教授。
専門分野は現代キリスト教思想と倫理学。担当科目は「ビジネス倫理」「宗教と文化から見るビジネスと倫理」など。



助教
大橋 英司

早稲田大学商学部を卒業生副総代で卒業。同大学商学研究科修士課程商学専攻修了。カナダ・アルバータ大学ビジネススクールより博士号(Ph.D. in Accounting)を取得。2021年より現職。
専門分野は会計学。研究の関心は管理会計の基礎である業績評価の理論。特に、業績評価システムやインセンティブ契約の設計において、心理的な要素がどのような影響を持つかという問題に関心を持っている。担当科目は「アカウンティング」「会計情報と資本市場」など。



助手
Nalynya Noble

チューラーロンコーン大学文学部卒業。同志社大学日本語・日本文化教育センター留学生別科修了。名古屋大学大学院国際開発研究科博士前期課程修了(国際開発学修士)。2017年より教育機関・NGO・行政機関等での人的交流や国際化事業の支援に従事し、2023年より現職。
研究分野は国際協力、特に教育と人材開発。研究テーマは、教育現場における異文化間コミュニケーション、タイの山岳民族、タイにおける公民教育。ABSでは、海外教育機関の認証や海外研修・招聘の支援を担当。